

【令和5年度区企画事業に対するご意見等】

担当部会	整理番号	事業名	区役所企画事業に対するご意見	担当課	担当課の考え方
第1部会	1	やってみよう！ 地域で考える 雪対策モデル事業	<ul style="list-style-type: none"> 自治会内の住民が、今年の冬の豪雪時に自宅前の除雪が全くできなく困ったときに西区役所に問い合わせましたが、満足いく返答がなかったので自治会内で協力して除雪を行った。 除雪計画の中で地域による差が出ないようにお願いします。 	建設課	<ul style="list-style-type: none"> 除雪計画は、対象とする道路の種別や道幅、出勤基準など市全体の基準をもとに作成しており、西区全体としては統一を図っています。 一方、地域からの要望全てに、対応できていない状況も認識しており、「やってみよう！地域で考える雪対策モデル事業」において、地域の除雪を区と地域がそれぞれの役割の中で協力して行き、降雪時の安心安全な交通の確保等を目的とし実施するものです。 地域の抱える課題や大雪時の行動を考える機会をつくり「自分たちで何ができるか」「除排雪の課題への工夫や対応」について、区や地域住民のほか除雪協力業者も交えてワークショップ形式で意見交換し、地域の除雪計画を策定しております。 今後もワークショップでの意見を除雪計画に反映することとともに、地域と協働で実現可能な除雪モデルを検討していきます。
	2	飛砂対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 飛砂はどこに運んで処分をするのでしょうか。海水を含んでいるため建築資材には利用できないと思いますが。 国道402号の飛砂対策で国から対策費用はでないのでしょうか。飛砂対策を国の事業とすることはできないのでしょうか。 	建設課	<ul style="list-style-type: none"> 本路線は国道でありながら、現在は新潟市が管理する道路となっております。 国道402号に堆積した砂は、主に国や県が海岸の養浜事業で利用するために関屋浜や四ツ郷屋浜へ搬出しています。 飛砂対策としては、飛砂防止柵設置、人工砂丘設置を国の交付金にて実施しています。
	3	避難所運営体験事業	<ul style="list-style-type: none"> この事業良いと思います。それぞれのコミ協からの参加者が体験したことを各地域に持ち帰り、共有することができる。この事業を継続していくことが大切だと思います。 時期的に11月は少し遅いと思います。 避難訓練はより具体的なものを求めていると思います。マンネリ化しているところに危機感を感じます。 避難所運営について、災害を想定した避難は夜間や車中を想定したより現実性の高い訓練が千葉県など高評価を得ている地域もあるようです。 避難所運営委員会の設立がない、また設立後どうしたら良いかわからない区民にもサポートを行ってほしい。 	総務課	<ul style="list-style-type: none"> 新たに実施する避難所運営体験事業は、より実戦に即した体験となるよう、また、参加者が各地域での参考にもらえるよう、内容を工夫して取り組みます。 各地域の実情に応じて自主的に防災訓練に取り組んでいただけるよう、引き続き必要な支援を行います。
	4	きれいなまちづくり サポート事業	<ul style="list-style-type: none"> 河川美化啓発ポスターコンクールは西区と西蒲区が共同で実施しているが、ぜひ継続して行ってほしい。 ポイ捨ての多いエリアには、ポイ捨て禁止の看板を設置してはどうか。 	区民生活課	<ul style="list-style-type: none"> 河川美化啓発ポスターコンクールは、令和6年度も継続して西蒲区と共催実施できるように検討します。 令和5年度より、きれいなまちづくりサポート事業の「各種団体の環境美化活動への支援」の中で、自治会・町内会やごみステーションの管理者から「不法投棄やポイ捨て禁止」の注意喚起のため看板の要望があった場合は要望団体の希望に応じて看板を作成し、配布しております。

令和6年度 特色ある区づくり事業 委員ご意見および担当課の考え方一覧

【令和5年度区企画事業に対するご意見等】

担当部会	整理番号	事業名	区役所企画事業に対するご意見	担当課	担当課の考え方
第2部会	5	キラッと支え愛 西区応援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も継続する場合は、応募期間をもう少し長めに設定してはどうか。 ・イベントを認知できていない区民も多いと感じる、もう少し周知やPRを様々な手段やツールで行ってはどうか。 	健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・周知につきましては、自治協への説明に始まり、区だよりやホームページへの掲載、民生委員定例会や茶の間の活動に参加させていただいてのPR、LINEやInstagramへの投稿等を行ってきました。報道にも取り上げていただくようプレスリリースも行いましたが、残念ながら取り上げてもらうことができませんでした。ここが課題の一つだと思っておりますので、今後の参考としたいと考えております。
	6	てくてく ウォーキング事業	<ul style="list-style-type: none"> ・歩く、歩けるは健康の基本だと思いますので、この事業の拡大を願います。 ・マップの時点修正に限定すると現時点であるコース変更・選択や安全性の保障等の課題に対応した正規の公式ウォーキングマップにすることは非常に困難であり、かえって混乱、誤解を生じやすいのではないかと、というウォーカーの声も多い。改めて実行委員会を立ち上げ、現状に即したコース設定とマップ図の検証・作成を行い、第2版としてリニューアルしてはどうか。 ・てくてくウォーキングマップ楽しみにしています。 	健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、劣化した看板の修繕をメインに時点修正を行いました。コースの見直しが必要であることは認識しておりますので、次年度以降は本庁担当課と協議を続けていきます。
	7	西区スポーツマイル プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・各競技種目を超えた指導者交流や研修を行ってほしい。(地域に長く根付く望ましいスポーツ、運動実践の観点から指導者養成とブラッシュアップのため)例:選手が子供に種目を教える→選手を育成している実績のあるコーチやトレーナーが各指導者へ講習を行う など 	地域課	<ul style="list-style-type: none"> ・区としては従来通り目的に沿った事業に取り組みさせていただき、各競技種目を超えた指導者交流や研修等については本庁スポーツ振興課で取り組みを行ってまいります。
	8	地域と大学連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな大学のある地域なので、小中学生に夢、想い、悩みをお互いに交流・交換できる環境は若者を大きく育てると思いますので、この事業を通して若者がより元気になってほしいです。 ・大学と交流を深めるのは良いと思います。ただ、一方的ではなく大学側にも寄り添い、大学生と地域でWIN-WINIになれる取り組みが良いと思います。 ・地域と関わりたい学生は一定数いると思うが、問い合わせ先がわからない学生も多いと感じるので、地域と学生をつなぐ窓口のようなところが設置されればと感じました。 	地域課	<ul style="list-style-type: none"> ・大学が多く立地していることは西区の特徴であります。地域と大学の距離を近づけることで、大学の持っている学術や、大学に集う学生の力を地域の活力につなげるとともに、学生が、学びの成果を実践できる場所を提供します。 ・また、「Meetup!NiigataWest2040」に大学関係者や学生が参加していることから、ここに若い世代の活動も取り入れ、地域と学生をつなぐ窓口となるよう取り組みます。

令和6年度 特色ある区づくり事業 委員ご意見および担当課の考え方一覧

【令和5年度区企画事業に対するご意見等】

担当部会	整理番号	事業名	区役所企画事業に対するご意見	担当課	担当課の考え方
第3部会	9	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の具体的な内容が把握できていない状態で予算について問われても、それが妥当なのかどうかの判断が難しい。仮にじっくり検討、協議して背景から調べるなどを行う場合はかなりの労力がかかるので、それなりにインセンティブが必要と感じた。 ・各事業の予算の内訳(概算で良いので、紙が膨大にならない範囲内)が見えると委員も意見しやすいと感じた。 ・各事業については民間企業とも連携して取り組めるものがあれば実施してほしい。企業と市でWIN-WINで取り組めるものがあれば。 	地域課	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、事業の説明を行う際は、前年度からの変更点や新規事業の取り組みに至る経緯等を含めて説明し、検討する時間を十分確保するよう留意いたします。 ・各事業の予算の内訳など、意見聴取に際して確認したい資料がございましたら事務局にお問い合わせください。 ・今後の事業実施に際しては多様な主体との連携も視野に入れて検討します。
	10	西区の美味しい農産物魅力発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・美味しい農産物魅力発信事業については継続して取り組んでほしい。すいか、大根、漬物、メロン、そら豆なども発信してほしい。 ・茶豆について。売り切れが多く「売るより食べたい」という言葉も耳にする。需要と供給のバランスも考えて実施してほしい。 	農政商工課	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の魅力発信事業については来年度以降も継続して取り組んでいきます。また、すいかやメロン等の農産物についても、すいかまつりや親子収穫体験事業等を通して魅力発信に取り組んでいきます。 ・生産農家の生産の後押しができるよう、ブランド化と並行し、設備導入に対する支援等に取り組んでいきます。
	11	西区の魅力を体感！まち歩きと収穫体験	-	農政商工課	-
	12	西区サステナブル農業支援事業	-	農政商工課	-
	13	西区の暮らし・魅力発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・広報のブラッシュアップについて、新潟市や新潟県はPR下手と言われてるので、区づくり予算でもよいが、全市で取り組んでほしい。 	地域課	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度は、西区役所の全所属を対象とし、外部の専門家を講師として広報の研修と相談会を実施しています。 ・区だよりに加え、TwitterやFacebook、InstagramといったSNSでの情報発信、魅力発信も引き続き行ってまいります。 ＜広報課・都市政策部(にいがた2km)＞ ・全市的な取り組みとしては、令和4年度に市公式ホームページをリニューアルし、シティプロモーションページ「What's NiiGATA」を新設しました。併せて、新潟市出身のインフルエンサー「ゆきりぬ」さんが出演する広報動画を制作し、ホームページと連携。本市の魅力を一体的に発信できるようにしました。 ・新潟の都心軸周辺エリア「にいがた2km」の取り組みでは、令和4年に、新潟市初の公式ニュースサイト『ニイガタニキロニュース』を開設しました。『にいがた通信』の人気インフルエンサー「ガタ子」さんを公式アンバサダーに起用し、市民目線で親しみやすい形で、にいがた2kmの取組を積極的に発信しています。 ・また、新たな発信手段として、令和3年度にLINE、令和5年度にYahoo! JAPANを導入したほか、イオン(新潟南・新潟西)にデジタルサイネージを設置しました。今後も多様な世代、多様なライフスタイルに対応した広報を展開できるよう取り組んでまいります。
	14	にしく2040会議	-	地域課	-
	15	西区デジタルコンテンツ活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな課題をどんな技術でどのように解決しようとしているのか、それに対して200万円までどこまで進めるのが今年度の目標なのか、対象者、対象人数の目安について疑問があります。 ・高齢者などのデジタル弱者の底上げ(教育)が必要と考える。最近ではマイナンバーの情報漏洩が全国で取り上げられているが、最初から100%上手くいくものではないので、萎縮せずに取り組んでもらいたい。 	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉分野とデジタル活用の基盤づくり、課題の洗い出しに注力しています。上半期は、福祉機器を使用したeスポーツ体験イベントを実施し、300人近い参加者を集めるなど福祉教育の新たな形を見出すことができました。 ・デジタル弱者の底上げは全市的な課題であると認識しており、各種手続きのデジタル化に際しては丁寧に進めていきます。